

やはり禁煙第一！ ますます身近になる肺がんの実態は？

健康エクスプレス No. 27

昨年末、野茂英雄やイチローを育てたオリックス前監督の仰木彬氏が亡くなった原因は肺がんによるものでした。奇しくも漫才コンビの星セント・ルイスの両氏とも同じ肺がんで亡くなられていますので、この病気がますます身近に感じられてきますね。今回は喫煙率の低下傾向にもかかわらず、がんの中で死亡率一位になっている肺がんを考えます。

単なる咳と、侮るなかれ！

(1) 胃がんを抜いて、日本人のがん死亡率トップの肺がん

平成 10 年、日本人のがん死亡率でそれまで最も高かった胃がんを抜いて、肺がん(気管、気管支および肺の悪性新生物)が最も高い死亡率となりました。実は平成 5 年には、男性がん患者の死亡率で肺がんがトップとなっていました。改めて男女共、肺がんはより注意すべきがんとして私たちに認識されるようになりました。

(2) 油断は禁物の肺がん。咳を侮らないで！

肺がんの死亡率が高い原因として、自覚症状のわかりにくさがあります。咳の原因を風邪だと思い込んでいたところ、実は肺がんだったというケースは決して珍しいことではありません。次の症状は、肺がんの可能性が疑われるものなので、呼吸器科の受診をお勧めします。

咳や痰が長く続く(7~10 日間程度)
息苦しくなる

胸部に痛みがある
声がかすれる

血痰が出る



肺がんの種類とその原因は

(1) 肺がんの分類

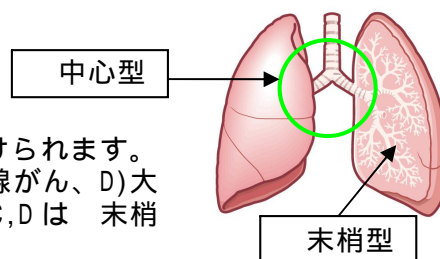
肺がんは発生した部位により、中心型と末梢型に分けられます。また、がん組織により A) 扁平上皮がん、B) 小細胞がん、C) 腺がん、D) 大細胞がんに分けられますが、A, B は中心型に多く見られ、C, D は末梢型に多く見られるものです。

がんは転移が気になりますが、肺はやはり血液の循環が多いことから、他の臓器(胸膜、肝臓、副腎、骨、脳など)への転移が生じやすいと言えます。特に、B の小細胞がんの場合は、進行・転移とも速いがんなので注意が必要です。

(2) たばこはやはり悪者？ 禁煙のススメ！

「たばこが肺がんの原因である」とまでは断定されていないものの、やはり喫煙が肺がんにとっては最大のリスクであることには間違いないとされています。特に、上記(1)にある B の小細胞がんは喫煙との関係が深いとされています。

最近、喫煙者でなくとも、肺がんになるケースが認められてきました。それは間接喫煙(受動喫煙)と呼ばれるもので、付近にいる喫煙者の煙を吸い続けてしまうことが原因とされているものです。たばこには発がん性物質が 100 種類以上含まれていると言われており、その中でもたばこの先から立ち上る煙(副流煙)が最も危険だという説があります。つまり、喫煙は喫煙者本人のみならず、周囲の人々までがんのリスクを与えるまさに危険な行為(敢えて言えば殺人的行為)なのです。



中心型

末梢型

50 歳過ぎたら肺の検査を

(1) 喫煙者は肺の検査を

自覚症状があまり現れない肺がんですから、50 歳以上で喫煙されている方は毎年 1 回は必ず胸部レントゲン、または CT による詳細な検診を受けて、肺の状態を調べてもらうことが望ましいでしょう。

(2) 職業による注意が必要

最近、特に耳にするアスベスト。これは中皮腫という特殊な肺がんの原因になる非常に危険なものです。また、粉塵の多い職場にいる方も肺がんの可能性が通常の方より高くなりますので、このような汚染された空気中でお仕事をされる方は特に注意が必要です。



《皆様の安心と安全のプレイントラスト(専門顧問グループ)》

株式会社ヤシロエージェンシーリミテッド 担当：八城一浩

〒107-0052 東京都港区赤坂 3-1-2 AU 赤坂ビル 4F TEL 03-3582-4511